

かわごえ 更女たより

川越市更生保護女性会

第 19 号



結成 50 周年を
祝して

川越市長
川合 善明

川越市更生保護女性会が結成 50 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴会は、昭和 41 年に「川越市更生保護婦人会」として結成されて以来、半世紀に渡り、女性のもつ温かさや、きめ細やかさをもつて、地域社会の犯罪や非行の未然防止活動を行うとともに、罪を犯した人の更生を支援する活動を熱心に継続されておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

また、貴会が子育て支援として取り組まれております小中学校への「愛の図書費」贈呈をはじめ、児童養護施設「埼玉育児院」や川越市立博物館への支援など、青少年の健全育成に対して、多大なるご尽力を賜っており



りますことに、心から感謝申し上げます。

近年、携帯電話やスマートフォン等の普及により、生活が便利になる一方で、青少年が犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが増えております。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）サイトを利用したサイバーの侵害やいじめなどが発生しているほか、性的被害に遭うなど重大な事件も起つております。また、インターネット

から得られる違法・有害情報に影響を受け、加害者になるといったことも懸念されております。これらの問題の解消と次代を担う青少年を健全に育成していくためには、家庭、地域、行政が一丸となつて取り組んでいかなければなりません。

そのためには、地域で活躍されている会員皆様方のご協力が欠かせないものと考えており、今後とも、非行や犯罪のない明るい社会づくりに、お力添えいただきますようお願い申し上げます。

総勢 130 名揃って

祝う感動の一日

平成 28 年 10 月 21 日(金)

陽ざしが暖かい、金木犀の花の香りが漂ってくる。今日の式典日和が喜ばしい。準備と時間を重ねて、待ちに待った此の日これで大丈夫か、見落としてはないか、互いに手順を確認し合う役員に、緊張がはしる。顧みればこれ程に斯くも盛大に、かつ厳粛にお客様をお招きする行事があつたのだろうか。三部構成から成る、結成 50 周年記念式典の幕があく。

第一部 記念式典

ご来賓のご入壇。川越市長をはじめ、さいたま保護観察所長、県更生女連盟会長、少年刑務所長、市教育長に続き川越市内外からも関係者の皆様が列席される。ご祝辞を戴く。今日までの結束力への労いと、これからの活動への励ましに会員一同背筋を伸ばす。



(後列左より) 川越支部保護司会田嶋支部長、川越市民児協芝波田会長、川越支部保護司会前新井支部長、富士見山田会長、ふじみ野森会長、坂戸丸山会長
(前列左より) 川越市川合市長、さいたま保護観察所笹井所長、埼玉県更生保護女性連盟金澤会長、川越少年刑務所川村所長、川越市教育委員会新保教育長



結成50周年を
記念にして
会長
原田 菊子

川越市伝統の華やかな川越まつりも一週間ほど前に終わり、街はいつも通りの活気を呈しております。

本日、川越市更生保護女性会の結成50周年記念式典が、川越市長様をはじめたくさんのご来賓のご臨席を仰ぎ、会員多数出席のもと、盛大に開催できますことは大きな喜びでございます。ご来賓の皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、川越市更生保護女性会は、先の東京オリンピック後の昭和41年5月に結成され、本年、平成28年に50周年を迎えました。50年といえば大きな節目でございます。ここで、50年の歩みを振り返り、更生保護活動がどのように行われていたかを知りたいと思いました。数少ない資料を調べているうちに、そこには熱心に活動している先輩方の姿が垣間見え、新鮮な感動を覚えました。この流れが私たちの現

在の活動の元になっていると思うと心が引き締まります。記念誌にはできる限り過去の資料を載せました。これから参考にすることも多くあります。

平成16年度には「婦人会」を「女性会」に改め、地区と会員数の変動を乗り越え、現在まで非行や犯罪防止のため明るい社会づくりを中心として更生保護活動に取り組んでおります。

平成27年度には、埼玉県更生保護女性連盟より「子育て支援」地域指定を受けました。子育て支援は青少年健全育成の基本であり社会でもいま一番重要視されている課題です。地域のニーズに応える形で積極的に活動を進めることができました。関係者の評価もよく有益な活動でした。

私たちは、50周年を機に過去の歴史からも学びもう一度更生



記念誌「いつくしみ」を手にして



歴代会長へ感謝状を贈呈

保護の意義を見直し推進力にしたいと思えます。本日の感激を胸に、また新たな一歩を踏み出します。

結びに、結成50周年記念事業の実施に当たり、関係機関の皆様、歴代会長の皆様には、終始温かいご指導をいただき、深く感謝申し上げますと共に、今後とも変わらぬご指導を賜りますよう申し上げます。式の言葉といたします。



左から
5代会長
馬場幸子様
6代会長
小島ひで様
7代会長
東海林直子様
8代会長
小澤好子様
四地区会長の皆様
坂戸地区丸山会長
ふじみ野地区森会長
富士見地区山田会長



歴代会長に感謝

副会長 新井 とよ

民生委員の委嘱を受けたと同時に、更女会員となる。民生委員の活動が主の30年。愛の募金。社会を明るくする運動。少年刑務所の諸行事の参加など、民生委員退任後、更女会本部役員としての活動に入りました。

結成50周年記念誌の作成、記念式典挙行の準備にと理事会の活動が始まり、先輩の方々を訪ね資料の提供、式典の日程や費用の点までもアドバイスを頂いた。会員の負担を少しでも少なく済む様、多大なるご支援も、歴代会長さんから戴いた。そして式典当日に元気に出席して下さいました。嬉しかったです。原田会長はじめ、会員の皆さんの協力で盛大な式典となった事、立派な記念誌が出来た事、感激でした。これからも川越更女の発展に努力して行きたいと思えます。



母もあるいた更女会

書記 松平 静江



私が民生委員になって3年目更女会の理事交代との

ことで、お話を頂きました。「民生委員の仕事だけでも忙しいのに」との声もありましたが、民生委員長の「十地区をつなげたい」の一言で、ずーっと会員でありました。更女会の会長になられた小澤さんの依頼を受け、断りきれずに本部書記に。ここ迄続けてまいりました。入会していただけては知りえなかった、更女会のこまやかな社会参加、地道な働きに、更女が存在意義の必要性に感動すら覚えました。

最近、母の遺品の中に、更女のたすきをみつけ、40年も前に東京で、母も更女に関わっていた事を知り、不思議な縁を感じました。結成50周年に思うこと、更女の働きは、パツと目につく様な派手な仕事ではありませんが、大切な仕事、社会に浸透できるように頑張っ行ってきたいと思えます。入会して30年を過ぎた今を感謝します。

共につないだ

50年

第二部 記念コンサート



ソプラノ歌手伊藤ちるさんに依る「子どもたちに残したい日本の歌」。きゃしゃなお姿からは想像もつかない声量が、式場の空気を一変する。

さすがプロ！ 澄んだ歌声は隔ずみにまで。

“うさぎ追いし かの山...” “たき火だ たき火だ...” “誰もが口ずさむ懐かしい歌々。その景色が浮かんでくる。

しかし時代の背景が変わり、子ども達から遠くなりつつある童謡。「詩の優しさや、温もりを歌い伝えたい」と伊藤さんは言います。フィナーレの歌劇「乾杯の歌」に心ふるえる感動！



第三部 記念祝賀会

大広間に場所を移しての、宴の席。和やかに歓談がはずむ。舞台では、高階地区、民生委員更女会々員、宮沢洋子さんの日本舞踊の披露がはじまった。しばし会話が途切れ、心地よい静かさが、優雅な踊りを一段と鮮やかにする。その淑やかさや、毅然とした立居振舞に、すっかり釘づけ。女舞、男舞を扇で使い分け、目線や足捌きで表現する。日舞に興味を持ち東京まで通い習ったの25年。「請われたら喜んで、見て頂きます。私の健康の秘訣」と宮沢さん。勿論、拍手喝采は言うまでもない。

(田邊)

◆ 今年度の活動

- 4/19 川越少年刑務所の誕生会
保護司会懇談会
4/27 県犯罪予防保護司会・更女会合同研修会
ふれあい福祉まつり
5/15 定期総会
5/17 市暴力排除推進協議会総会
5/20 市犯罪被害者支援推進協議会総会
5/30 県更女理事・評議員会
6/30 市青少年を育てる会議総会
7/中 「愛の募金」活動
7/30 社会を明るくする運動
うちわ配り
9/16 埼玉県更生保護女性連盟
結成 65 周年記念の集い
10/5 西ブロック研修会
10/19 川越少年刑務所体育祭
10/21 川越市更女会結成 50 周年記念式典
10/25 第 29 回防犯並びに暴力排除推進大会
11/9 4 地区交流会 富士見地区
11/18 第 63 回埼玉県更生保護大会
11/18 川越少年刑務所文化祭
12/21 保護司忘年会
平成 29 年
1/19 新会員研修会
1/20 川越少年刑務所成人式
2/2 新年会

ふれあい福祉まつりに参加して

霞ヶ関北地区 中村美恵子
前日の暑さと違い爽やかな朝
を迎えた 5 月 8 日、私は伊佐沼
公園で開催された「ふれあい福



祉まつり」で会場案内図を配布
する手伝いで初参加しました。
配布場所は、私がよく利用する
場所だったので、リラックスし
て行うことができました。昼か
らは暑さが戻り、太鼓演奏やフ
ラダンス、民謡を踊る方々は太
変だったと思います。合間に催
し物や出店等を見て歩き、多く
の方々の力で企
画開催されてい
ることを知り、
改めて感動しま
した。来年も是
非お手伝いをさ
せていただきたい
という気持ち
で一日を終えま
した。

川越少年刑務所の誕生会に参加して

福原地区 横川 博子
4 月 19 日、川越少年刑務所の
誕生会へ招かれました。ステー
ジにはスライドが映し出されて
いる中、ヤカンに入ったココア
を注いで回りました。「おめでと
うございます」との声掛けに「あ
りがとうございます」の一言で
胸にこみ上げてくるものがあり
ました。その後、施設内の見学、

受賞おめでとう

グラウンドでは対抗戦に向けて
ソフトボールの練習が行われて
いました。7 月には保護者会も
予定されているそうです。初め
ての体験でしたが学ぶ事が多く
ありとても有意義でした。

『埼玉県更生保護女性連盟
結成六十五周年記念の集い』

平成二十八年九月十六日(金)

戸田市文化会館

○さいたま保護観察所
所長感謝状

板橋眞里子

矢島 和子

坪井 靖子

三浦あや子

大野 明子

永浜 典子

武藤 弘美

○埼玉県更生保護女性連盟
会長表彰

宇佐美直美

永島恵美子

平塚 敦子

山岸 富子

岩崎 照代

岸野 素子

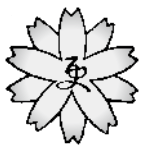
醍醐ノリ子

長谷川八重子

石川 信子

三村 清子

水村 清美



小学校へ愛の図書費贈呈

平成 28 年 9 月 5 日・6 日、原
田会長と地元理事が高階南小、
寺尾小、高階西小、今成小、月越
小と 5 校の小学校を訪問。贈呈
することができました。更女会
の活動へのご理解いただき今後
の励みになりました。

愛の募金

募金総額 733,560 円
県更女連盟 183,000 円
地区活動費 550,560 円

上記の通りご報告致します。

会計 野崎 昭子
井上 順子

編集後記

昨年度、川越市更生保護女性会も
結成五十周年を迎え会員の皆様方
にも共に祝って頂けたらと思い「五十
周年記念式典」の様子を主として広
報を作成致しました。

永年に渡り、ご活躍頂いた皆様へ
の感謝の気持ちと今までの歴史に恥
じぬよう『いづくし』の心で今後も
更に活動して行けたらと思います。

式典に関しまして、ご協力頂きま
した皆様方、本当に有難うございま
した。

編集委員

(関根)

田邊 純子

水井 和江

関根真奈美